

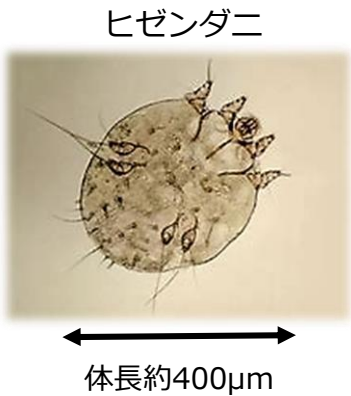


疥癬（かいせん）に 注意しましょう

疥癬ってどんな病気？

疥癬はダニの一種である「ヒゼンダニ」がヒトの皮膚に寄生しておこる痒みを伴う皮膚の病気です。疥癬には、「通常疥癬」と「角化型疥癬」の2つのタイプがあり、治療や予防方法が異なります。

	通常疥癬	角化型疥癬
ヒゼンダニの寄生数	数十匹以下	100万～200万匹
感染力	弱い	強い
潜伏期間	約1～2か月	4～5日
主な症状	かゆみ、赤い湿疹	角質の増殖
かゆみの強さ	強い	個人差あり
症状がでる部位	顔や頭を除いた全身	全身



どのように感染するの？

通常疥癬

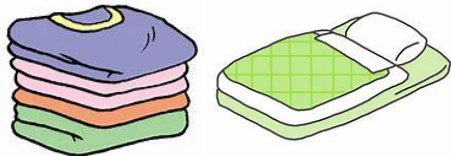
■ 直接経路

- ・長い時間、肌と肌が直接接触することで感染します
- ・短い時間触れる程度であれば感染しません



■ 間接経路

- ・患者が使用した寝具や衣類等を交換せずに、他の人が使用することで感染することも稀にあります



角化型疥癬

■ 直接経路

- ・感染力が強いため、短い時間の接触でも感染します

■ 間接経路

- ・寝具や衣類等を介するのみでなく、落屑（はがれ落ちた皮膚のかげら）に接触することでも感染します

感染力が強いため要注意！



もし症状がでたら？

痒みや皮疹が出現した場合は、皮膚科を受診しましょう。
疥癬は、ダーモスコープや顕微鏡でヒゼンダニの虫体や卵があることを確認することで診断されます。

疥癬の治療は？

塗り薬や飲み薬により、ヒゼンダニを駆除します。塗り薬は、全身に塗り残しがないよう注意しましょう。
疥癬の種類や症状等によって、処方される薬は異なりますので、医師の指示に従いましょう。



疥癬と診断された場合の対応は？



通常型疥癬と角化型疥癬では、感染力の強さが異なるため、それぞれ対応が異なります。
下記を参考にご対応ください。

対応	通常疥癬	角化型疥癬
患者隔離	不要	個室隔離（治療開始後1～2週間）
ガウン・手袋	状況に応じて検討	患者対応時は着用
清掃	通常どおり	粘着シート等で落屑を回収後、掃除機
殺虫剤の散布	不要	隔離解除時にピレスロイド系殺虫剤を1回散布する
シーツ類の交換	通常どおり （他者と共有はしない）	自家感染予防のため治療ごとに交換
洗濯	通常どおり	以下のいずれかの方法 ・通常洗濯後に乾燥機を使用 ・50℃10分間熱処理後に通常洗濯
洗濯物の運搬	落屑等が落ちないようにビニール袋等にいれて運搬	
入浴	通常どおり	・入浴は最後とする ・使用後の浴槽等は水で流し、脱衣所は掃除機をかける
物品の共有	直接接触するものは共有しない	患者に使用するものは専用化とし、隔離解除時に掃除機または殺虫剤を散布
その他共通事項	・皮膚観察の強化、症状出現時の受診勧奨 ・処置ごとの手洗いの励行 ・施設等での発生の場合、利用者及び家族等への周知 ・職員のユニホームの自宅への持ち帰りは行わない	